樋之口南市営住宅7号棟解体工事

- 1. 現場の状況
 - ・周辺は近隣住宅の住人が、日常の生活をしています。
- 2. 福山市週休2日適用工事について (発注者が指定した工事に該当し実施については (・)印のついたものを適用する)
 - · 発注者指定型
 - 受注者希望型

本工事は、持続可能な建設産業の実現に向けた労働環境の改善を目的とする福山市週休2日適用工事です。詳細については、別紙(公共建築工事における福山市週休2日適用工事の実施について)によるものとします。

3. 留意事項

- ① 工事期間中は第三者の安全確保に細心の注意を払い、必要な対策を講じてください。
- ② 施工前に工事内容、工事期間及び施工業者等を明示したものを近隣住宅へ周知してください。特に、騒音、振動、埃、臭気及び開口部の閉鎖等、日常生活に支障が出る作業は十分な周知を行ってください。
- ③ 工事車両の出入りに際しては、一般車輌・歩行者の通行の支障とならないよう、工事用出入口の仮設計画に十分配慮すると共に、工事用出入口から前面道路及び敷地内通路へ泥を持ち出すことのないよう十分留意してください。
- ④ 年末年始期間については、騒音・振動等の住環境改善に努めてください。
- ⑤ 工事に伴う敷地使用は最小限にとどめてください。
- ⑥ 外部足場組立・撤去時は、交通誘導員等を配置し、十分に安全を確保してください。
- ⑦ 既設工作物等に損傷を与えないように対策を講じてください。なお損傷を与えた場合には、 監督員に報告するとともに、受注者の責任において速やかに復旧してください。
- ⑧ 実施工程表は契約後14日以内に提出してください。その際、工程については監督員と十分に協議してください。また、施工計画書等の承諾は速やかに受けてください。
- ⑨ 本工事は、建設リサイクル法対象工事に該当します。特定建設資材の再資源化に努めると ともに、産業廃棄物は適切に処理してください。
- ⑩ 工事施工上必要な官公署への手続は、受注者の責任において速やかに行ってください。
- ① 受注者は、地元企業、地場製品の活用に努めてください。

4. 別途工事なし

公共建築工事における福山市週休2日適用工事の実施について

- 1 本工事は、契約締結後において受注者の希望により行う、週休2日適用工事である。 なお、本適用工事の取組を希望しない受注者は、5~12に規定する義務を負わない。
- 2 本工事において「週休2日」とは、次の各号に定める区分に応じ、当該各号に定める条件を満たすものをいう。
 - (1) 完全週休2日(土日) 対象期間の全ての週(原則として、土曜日から金曜日までの7日間とする。以下同じ。)毎に現場閉所又は現場休息(以下「現場閉所等」という。)を原則として土曜日及び日曜日に指定し、1週間に2日以上の現場閉所等を行うものをいう。ただし、当該期間に、日数が7日に満たない週を含む場合においては、当該週の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことで、1週間に2日以上の現場閉所等を行っているとみなす。
 - (2) 月単位の週休2日 対象期間の全ての月毎に現場閉所等の日数が、4週8休(現場閉所等の割合が28.5%(8日/28日)以上のものをいう。以下同じ。)以上であるものをいう。ただし、当該期間に、暦上の土曜日及び日曜日の現場閉所等では4週8休に満たない月又は日数が28日に満たない月を含む場合においては、当該月の対象期間内の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことにより、4週8休以上であるものとみなす。
- 3 本適用工事に係る用語の定義は、次の各号に定めるものとする。
 - (1) 現場閉所 巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、 現場事務所での作業を含めて1日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をい う。
 - (2) 現場休息 分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて 1日を通して現場作業が無い状態をいう。
 - (3) 対象期間 工事着手日(準備期間(契約上の工事の始期から現場事務所などの設置、 測量、本体工事又は仮設工事のいずれか最も早い日までの期間をいう。)を除く。)から工事の完成日(後片付け期間(契約図書に基づく工事目的物の施工が全て完了し、余 剰資材等の撤去、現場の清掃等、工事の完成検査を受けるために必要な作業を行う期間 をいう。)を除く。)までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものと する。
 - ア 年末年始6日間及び夏季休暇3日間
 - イ 工場製作のみが行われている期間
 - ウ 災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされ た期間
- 4 受注者は、工事着手までに監督員に対し、週休2日実施の有無及び実施する週休2日の 区分について申し出るとともに、実施する場合は、現場閉所(現場休息)計画表兼実績表 (以下「計画表」という。)を提出するものとする。

なお、工事着手前に週休2日を実施しない旨を申し出た場合は、工事着手後の週休2日 を実施する旨の申出は受け付けないものとする。

- 5 受注者は、天候を理由として現場閉所等を行う場合のほか、次に掲げる場合は、監督員 との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。
 - (1) 品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合
 - (2) その他工程の都合上やむを得ない場合
- 6 受注者は、当該工事が週休2日適用工事である旨を、施設管理者の承諾を得て所定の様式により公衆の見やすい場所に掲示しなければならない。
- 7 受注者は、計画表に現場閉所等の状況を記入し、現場閉所等の状況が確認できる書類 (工事日誌、出勤簿等をいう。)とともに毎月7日(7日が閉庁日の場合は翌開庁日)まで及び工事完成後速やかに、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。
- 8 週休2日を理由とする工期延長については、認めないものとする。
- 9 受注者は、週休2日を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合 せ簿により監督員に報告するものとする。
- 10 経費については、次の各号に掲げる現場閉所等の実績に基づき、当該各号に定める補正 係数を用いて労務費(予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及 び物価資料の掲載価格(材工単価)の労務費とする。)及び現場管理費を補正するものす る。

なお、発注時点では、週休2日の経費を見込んでおらず、現場閉所等の実績に基づき、 変更契約を行うものとする。

(1) 完全週休2日(土日)

ア 労務費 1.02

イ 現場管理費 1.01

(2) 月単位の週休2日

労務費 1.02

11 週休2日を達成したときは、工事成績評定表の「工程管理」及び「創意工夫」において 評価するものとする。

なお、週休2日を達成できなかった場合であっても、工事成績評定は減点しない。

12 計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行った場合は、指名除外措置の対象となる場合がある。

樋之口南市営住宅7号棟解体工事

	図面リスト
図面番号	図 名
1	図面リスト
2	解体工事特記仕様書(1)
3	解体工事特記仕様書(2)
4	付近見取図・配置図
5	外構図・仮設計画図
6	基礎伏図・平面図・屋根伏図・立面図 断面図・仕上表

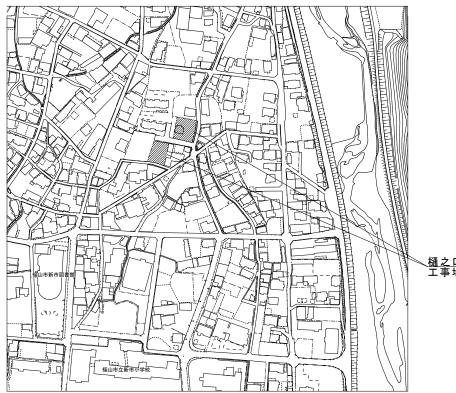
福	山市建設局建築部	発注	2025年 10	0月		
主務	課員	次長	Ē	果長補佐	住宅課長	建築部長

解_体_工			型気保安技術者 型気保安技術者	- 適用する ・ 適用しない	20					⊕	4	坦	<u>特 記</u> ※無し	争 填
I 工 事 概 1. 工事名称	要	(1	(1.3.3~1.3.4)		仮	対策(仮囲い等の 安全施設)				の対策を行う。 ッシュ金網、養生シート)	特		・ 有り (④特定化学物質等)
2. 工事場所	福山市新市町地内		施工条件	1) 作業時間は、原則午前8時から午後5時までとし、通学時間帯を考慮すること。	設		○ 防音パネル等を取	り付ける足	場等の設置範囲及		管理		※ 無し	
 動地面積 解体建物概要 		# ((1. 3. 5)	2) 日曜日及び祝日に作業を行わないこと。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りではない。	エ		(建物全周囲 ※ 枠組み足場を設け) に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月24	産業		・ 有り ()
1)構造・規模	<u>住宅棟(7号棟) 1棟 木造 平家建 30.40㎡</u> 増築棟:木造 平家建 33.80㎡	通 12 14	施工中の安全確保	1) 労働安全衛生法第30条第2項の規定に基づく指名 ・ 有り ・ 無し	事					・感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中 組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法			処分等の必要な特別管理産業廃棄物は、関係法令 判明した箇所も、処分方法等を監督員と協議し、	に従い適切に処分すること。又、施工調査によって、 司詳に加公すること
2)新築工事の着工日				2) 受注者は、現場代理人を工事現場に常駐させ、工事現場内外及び下請け業者の管理を十分に行い、						は(3)の方式により行うこと。	0	(5. 4. 1)	刊のした例がも、だりカム寺を重目長と励成し、	可称になりすること。
3)耐火 4)その他	・耐火 ・準耐火 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	項		周囲の建物、通行者等に損傷を与えないように注意して工事を施工すること。 なお、万一損傷が生じた場合は、受注者の責任において処理すること。			また、上記足場の			動安全衛生規則を遵守して実施すること。 示による)	運 :	3 廃石綿等 (5.4.1)	廃石綿等の処理は、解体仕様書6章「石綿含有建	材の除去及び処理」による。
5. 工事範囲	建物の撤去は基礎までとし、給水管、排水管ガス管及び電線等も全て撤去処分とする。			3) 工事中は、騒音、振動の発生、粉塵の飛散(散水)、道路の汚染等の防止に努めること。					_			4 PCB含有機器類	事前調査対象機器は次による。	
	なし ・査期間として14日を含んでいる。			※ 低騒音型・低振動型建設機械を使用すること (近隣住民の生活環境の保全の必要性がある場合) 4)歩行者等の通行に支障を生じないよう交通誘導員を配置し、適切な処置を講じること。		2 監督員事務所 (2.3.1)	・ 設ける (・ 備品等 (m ² 程度)	·) 設けない		(5. 4. 1)		
※本工事は、法定外の労				※ 本工事は、交通誘導員として <u>2</u> 人を見込んでいる。		_							PCB含有シーリング材の分析調査及び撤去は次	
Ⅱ 建築工事仕様 1.共通仕様				なお、交通誘導員の配置については、実施伝票(原本)および配置状況のわかる立会写真の撮影を 行い監督員に提出する。	(3	3 受注者事務所等	敷地内へ建てるこ	とができる	•			ング材 (5.4.1)	 分析調査箇所数 (計 箇所) 分析 ・ 撤去範囲は、次のとおりとし、PCB含有: 	調査箇所 ※ 図示 シーリング材はPCBが飛散しないように適当な容器
図面及び特記仕様	書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、建築物解体工事共通仕様書			5) ダンプトラック等による過積載の防止を図ること。	4	4 工事用水	構内既存の施設		利用できる(副メ	ーター設置等)			に納め、適切な場所に保管し、調書を作成の	
	版)(以下、「解体仕様書」という。)による。 機械設備工事を本工事に含む場合は、それぞれ公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)、公共建築			6) 作業現場には、労働安全衛生法に基づく作業主任者等を置き、作業の安全管理に努めること。 ① つり足場(ゴンドラのつり足場を除く)、張出し足場又は高さ5m以上の構造の足場の組立て、				無値で利用で	利用できる きない				(・図示による・	,
工事標準仕様書(機	戒設備工事編)による。			解体を行う場合、コンクリート造又は鉄骨造の工作物(その高さが5m以上のもの)の解体作業を行る場合は、光熱内合物はは第14条に基づくは鉄準型を終えしませる。		T # H = +	構内既存の施設	. 生牌で	利田水本 Z .	年間で利用できる (利用できた)、	- /	6 ダイオキシン類 (5.4.1)	廃棄物焼却施設等の解体方法の指定 ※ 解体作業	
(1) 地元企業及び地域 本工事受注者は、	弱製品の活用 地元企業、地場製品の積極的な活用に努める。			業を行う場合は、労働安全衛生法第14条に基づく技能講習を修了したものとする。 ② 木造建築物の解体作業を行う場合は、平成3年1月21日付け基発第39号「安全衛生教育の推		5 工事用電力	博内成任の肥設	・有限で	*利用できる・	無償で利用できる ① 利用できない		(5. 4. 1)	※ 解体作業・ 第 1 管理区域(レベル1) ・ 第 2 管理区	(域(レベル2) ・第3管理区域(レベル3)
(2) 疑義に対する協語	後等 れた内容に疑義が生じた場合(記載されてない事項等)又は現場の納まり、取り合い等の関係で、設計図			進について」及び平成元年5月9日付け基発第485号「木造建築物の解体工事の作業指揮者に に対する安全教育について」に基づく安全教育を終了した者とする。	3	1 事前措置 (3.2.1)				管等の切断及び桝、配管等の撤去は本工事に含む。 理については、供給者と事前に協議すること。			・ () ※ 廃棄物焼却炉からの排出物の処分	
	だに内谷に乗載が生じた場合は、監督員と協議する。				解	(0. 2. 1)	② 水道、ガス、T	水等の切断	析位置等は木杭等で	明示する。また、記録を残し監督員に提出する。			品目 最終処分場等	の名称 所在地 (距離)
o #±===#±#			丘隣との折衝 (1.3.6)	地域住民等と工事の施工上必要な折衝を行うものとし、あらかじめその概要を監督員に報告する。また、その経過について記録し、遅滞なく監督員に書面で報告する。	体		③ 配管等の切断位2)落下するおそれの			図示による。			・もえがら	77 In C Certain
 キ記仕様 (1)章、項目は番号 	こ〇印のついたものを適用する。			よん、 Cの柱地に プル・C 記述 C 、 圧/市 な N 血目 具 に 言 出 C 秋日 y も 。	エ					想される場合は駆除等を行う。			・ばいじん	
	『のついたものを適用する。 『のつかない場合は、※印のついたものを適用する。		発生材の処理 (1.3.10)	・ 引渡しを要するもの () ・ 現場において再利用を図るもの ()	事					い、必要に応じて放電する。 1等による異臭の発生を防止する。		7 特殊な建設副産物	同収みが加公の必要が特殊が建設副産物け、関係:	************************************
⊙ F	□と ⊗ 印のついた場合は共に適用する。			① 次の建設廃棄物は上記によるものを除き再資源化する。			6) 浄化槽、排水槽等	の解体に係	系る汚水及び汚物等	の残留物は、施設管理者が回収、洗浄等を行うため)	の回収及び処分	調査によって判明した箇所も、処分方法等を監督	
(3) 項目欄に記載の	() 内番号は共通仕様書の該当項目を示す。			(1) 建設リサイクル法による特定建設資材廃棄物及び建設発生土 (・) 建設発生土 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			、時期等について	:協議するこ	<u>-</u> Ł.			(7. 3. 1)		
章 項	特 記 事 項			(2) 金属類 (3) 小型二次電池	(2	2 解体順序	① 解体仕様書による		図示による		5	1 事前調査		の事項について事前調査を行い、調査結果をとりま
① ① 適用基準等	※ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ※ 建設廃棄物処理指針 ※ 建設副産物適正処理推進要綱 ※ 建設工事公衆災害防止対策要綱			◆ その他建設廃棄物の再資源化 ・ 無し◆ 有り (・蛍光ランプ、HDランプ ◆硬質塩化ビニル管)	(3	(3.3.1) (3.	1)基礎の解体撤去は	は、騒音・排	豪動等に配慮して分	別解体し、砂利地業・割り石まで行なうこと。	泵	(1. 4. 1)	とめて監督員に提出するとともに、その写しを工 官公署へ報告を行う。	事の現場に備え置く。また、関係法令等に基づき、
_	※ 建築工事安全施工技術指針 ※ 労働安全衛生法			・ 指定建設資材廃棄物(木材が廃棄物となったもの)の縮減 ・ 無し ・ 有り			2) 杭の解体 ・ 残	置させる	解体する (・引き抜き工法 ・破砕方法 ・)	含		(1) 使用部位の確認	
般	※ 石綿障害予防規則 ※ 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)			・ 産業廃棄物広域認定制度の適用 ※ 無し ・ 有り ()) ・ 処理に注意を要する建設廃棄物 ※ 無し			① 杭を残直する場 共に監督員に扱		り種別・杭径、杭の	D位置、杭頂部高さ、深さ等の記録を整備し、写真と	建 材		(2)種別、厚さ等の確認(3)使用数量の確認	
д	※ 建築基準法 ※ 環境基本法 ※ 騒音規制法			・ 有り (・CGA処理木材 ・ひ素、カドミウム含有石膏ボード) ※ 建設副産物情報交換システム (COBRIS) (財) 日本建設情報総合センター			② 残置杭の中、杉				の除		(4) 施工範囲と工事管理区分の確認	
通	※ 大気汚染防止法 ※ 土壌汚染対策法 ※ 資源の有効な利用の促進に関する法律 ・ 特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)			※ 建設制度物情報交換システム (COBRIS) (別) 日本建設情報総合センダー 本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じ			③ 残直9 分机期18	L、 キャツ -	ノ寺で彼いコングリ	一トを打設すること。	去	1	 石綿含有分析調査 (※ 不要 ・ 必要 ※ 分析方法 JIS A1481-1「建材製品中のアスペ	
事	・フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)			た場合は、速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。 また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬出(搬入)する場合は、次表により計画書(実施		4 構内舗装等 (3.11.1)				の解体は本工事とし、分別解体する。	処理		※ 分析必要部屋名等 (※ 図示)	分析必要箇所 (箇所)
項 ② 監理(主任)技術者	受注者は、監理技術者及び主任技術者を建設業法により定め、工事現場内において工事名、工期、写真			また、姓成サリイブル広に死足する姓成員やど敬山(敬人)する場合は、久衣により計画者(失肥書)を提出する。なお、これにより難い場合は、監督員と協議する。		_	2)樹木等の伐採伐根	及び物値	※ 有り(凶小)	- * **********************************	1-	2 石綿粉じん濃度測	石綿粉じん濃度測定を行い、記録し監督員に報告	する。
	、所属会社名及び証明印の入った名札を着用する。			施工計画時工事完了時	(5	5 地下埋設物 (3.12.1)	撤去する地下埋設物) ## =# ###	・ハンドホール	オイルタンク ・ 埋設廃棄物 ① (便槽)	.	定 (6.1.3)	※ 測定方法は、公共建築改修工事標準仕様書(建 測定点の取り方	(築工事編) 最新版による。
③ 官公署手続き等	工事の着手、施工、完成に当たり、関係機関への必要な手続き等を遅延なく行うこと。また、これらの			搬 出 再生资源促進利用計画書 再生资源促進利用実施書 搬入 再生资源利用計画書 再生资源利用实施書		(0.12.1)				段物の存在を確認した場合は、監督員に報告し、対		(0. 1. 3)	(1) 処理作業前	
(1. 1. 3)	手続き等を行うに当っては、届出内容についてあらかじめ監督員に報告すること。 なお、手続き等に要する費用は受注者の負担とする。			1) 本工事における再資源化に要する費用(運搬費を含む処分費)は、廃棄物処理法に基づき許可した			応策を協議するこ	٤					処理作業室内(点)施工区画周辺又は敷地境界(点)	
				適正な施設(許可対象とならない中間処理施設にあっては、廃棄物処理法に定められた基準に従っ	(6 埋設配管	・ 検去・ 存置						(2) 処理作業中	
4 工事実績情報の 登録	受注者は、次表に従い、工事実績情報を登録する。 ※ 登録内容について、あらかじめ監督員の承諾を受けたのちに、次表の期間内に登録申請を行う。た			た適正な施設)のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費(平日の受入費用)の費用の 合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要		(3. 12. 1)	※ 設計図書に記載さ すること。	れていない	地下埋設物の存在	を確認した場合は、監督員に報告し、対応策を協議			処理作業室内(点)セキュリティーゾーン入口(点)・・・3	空気の流れを確認
(1. 1. 4)	だし、期間には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始の閉庁日を除く。			する費用(単価)は変更しない。									負圧・除じん装置の排出口(点)…	
	請負金額 エ事受注時 登録内容の変更時 エ 事 完 成 時			2) 本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入す建設廃棄物については、広島 県産業廃棄物埋立税が課税されるので、適正に処理すること。なお、本工事では、広島県産業廃棄		7)整地・埋戻し 盛土				すること。(なお盛土する場合は図示による) 良質土 ・他現場の現場発生良質土			施工区画周辺又は敷地境界(3点)(3)処理作業後(離隔シート撤去前)	
	500万円以上 契約後10日以内 変更契約後10日以内 工事完成後10日以内			物埋立税相当額を見込んでいる。		(3. 13. 1)	・ 再生コンクリー	-ト砂	・リサイクル	プラントが販売する処理土 ・			 処理作業室内(点) 	
	なお、変更時と工事完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。(登録要) 変更登録は、工期、技術者等に変更が生じた場合に行う(請負代金のみ変更の場合、登録不要)		拖工計画調査 (1.5.1)	工事の着手に先立ち、施工計画作成のための調査を行う。			2) 土砂流出の恐れの)ある部分に	は、土のう等で処置	すること。 -			・ 施工区画周辺又は敷地境界 (3点)	
	※ 登録後は速やかに登録されたことを証明する資料を監督員に提出する。	16 施	施工数量調査	施工に先立ち、下記の施工数量調査を行う。	(8	8 解体後の囲障	設置する ・ 設			囲いを存置		3 除去工事共通事項		
(5) 別契約の関連	施工範囲 ※ 図示による。		(1. 5. 2)	※ 調査範囲 ()			※ 囲障を設置する場: 種別 ① 木杭-		・ 木杭+番線	振り ・ (メッシュフェンス)		(6. 2. 1~6. 2. 9)	石綿含有吹付け材の除去を直接行っ専門工。 とを証明する資料を監督員に提出すること。	事業者については、工事に相応した技術を有するこ
工事との調整等	関連工事との調整	17 +4	施工の検査	B-MP R In L 7 Ptopt の A-A オナ に こ			高さ・図示		• H=				2)作業主任者及び特別管理産業廃棄物管理責任者	†
(1. 1. 7)	※ 別契約の関連工事受注者が足場などを使用する場合は無償とする。 ※ 別契約の関連工事受注者と工程を含めた総合的な打合せを定期的に行い、監督員の調整に協力し、	1 1.	他工の快査 (1.6.4)	監督員による随時の検査を行う。 ※ 検査に必要な資機材、労務等を提供すること。			設置範囲 ① 図示		· 敷地境界全	y.			① つ柿作来主任有技術調査又は平成10年3月以 者のうちから、石綿作業主任者を選任し、管	前の特定化学物質等作業主任者技能講習を修了した F理させること。
	当該工事関係者とともに円滑な施工に努める。	10 7	T車際行都生書	毎月7日までに、前月末までの履行状況を、実施工程表及び現場状況写真を添付して提出すること。	9	9 建設発生土	場外指示の場所に場内指示の場所に		 場外搬出適切処 	L置 ・場外指示の場所に敷き均し			②排出事業者は、石綿含有吹付け材、石綿含有 責任者の資格を有する者を選任し管理させる	「保温材等の除去工事では、特別管理産業廃棄物管理
⑥ 工事工程表	検査期間としての14日間を含んだ工程とし、工事全体を把握して作成し監督員の承諾を受ける。								発生土は、次の公	の関与する埋立地に搬出するものとする。		;	3)除去作業者	
(1. 2. 1)	※ 契約締結後14日以内に実施工程表を提出する。	(19) 坦	里設物等の報告	工事の施工に当たり、設計図書に記載されていない地下構造物、埋設配管等を発見した場合は、直ちにその状況を監督員に報告すること。			搬出場 ※ 当該丁事により発		発生十け 「広島」	_の公の関与する埋立地 県HPの建設発生土処分先一覧表」に掲載されてい				下「除去作業者」という。)は、石綿障害予防規則 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
7 施工計画書	工事に先立って次の計画書・書面を提出する。						る施設のいずれかり	に搬出する	ものとする。また	搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用			する。また、除去作業者は、一般健康診断、	石綿健康診断、じん肺健康診断を受診した者とし、
(1. 2. 2)	※ 解体工事施工計画書 2 部 (1 部返却) (総合仮設計画書、安全対策計画書、分別解体等計画書、建設副産物処理計画書)	(20) #	也下埋設物調査	(・) 行わない ・ 行う 図示する範囲内において、整地前に敷地境界から2mの距離を置き、幅1m、深さ1.5						ウルプラント又は建設発生土受入れ地(一時たい積 理由がある場合を除き残土処分に要する費用は変更			肺機能に異常がない者とする。 4)施工計画書	
	添付書類			mで、3m間隔で掘削調査を行う。			しない。							D飛散防止対策を盛り込んだ施工計画書を施工調査
	廃棄物処理業者(収集、運搬、中間処理最終処分)の許可の写し 二者の委託契約書の写し	(21) 第	家電リサイクル法	 特定家庭用機器再商品化法(平成10年6月5日法律第97号)に指定する機械機器を処分する場合は、同			なお、工事発注後 員と協議するもの。		なったやむを得な	い事情により、上記の仕様に拠り難い場合は、監督			等の結果に基づき作成し、監督員の承諾を 5)表示及び掲示	受けること。
	処分場の位置及び運搬ルート ※ 下た冷凍利用引用されて下た冷凍利用の作引用書 タの旅 (1 ***)をお	×	対象機器の処分	法に基づき処理を行うこと。また、工事完了後に管理票の写しを提出すること。	1 .	· #======	4 \ # 0 \$ 70 \$ # \$ \$	rate for 1.12	# 回答理	があれて針ひとなっていて ファスチェント	1 1		①関係者以外立入禁止、喫煙・飲食の禁止、石	
	※ 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書 各2部(1部返却) ※ 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設リサイクル法)による対象建設工事に係	22 元	完成時の提出書類	● 産業廃棄物処分の実績報告書 1 部	[]	1 施工計画調査 (5.1.2) (7.1.3	。これらについ [、]	て、設計図		物及び特殊な建設副産物をいい、その種類は次によ . 施工調査を実施し調査結果を調書に取りまとめ、				(労働基準監督署への届出内容、粉じん飛散抑制
	る書面 各2部(法第12条第1項、法第13条及び省令第4条)			⊗ マニフェスト (D・E票)の写し及び集計表を添付する。○ 写真 1部 (A 4 判印刷、若しくはA 4 判写真帳)	別		監督員に提出する。 ・特別管理産業廃		石綿等 ・PCP	を含む機器類 ・PCB含有シーリング材 ・廃油			措置、ばく露防止措置等)」を周辺住民の見 6)保護具・保護衣	やすい場所に掲示する。
8 工事の記録	下記のものを監督員に提出する。工事中及び完成写真の作成は「営繕工事写真作成要領」による。			※ 原版の提出 ○ しない ・する (・全て ・指定する工程のみ)	理			・廃	酸、廃アルカリ				①作業者は、作業内容に応じた呼吸用保護具、	保護めがねを使用するとともに粉じんが付着しに
(1. 2. 3)	○ 工程写真 工事の進捗に伴い工事全体状況及び主要工程の写真(カラー・サービス版)を工事履行報告書に			(電子データ形式等は、監督員の指示による。)	業廃		・特殊な建設副産		ロン、ハロン等の! 定化学物質等	特定物質 ・放射性物質 ・六ふっ化硫黄 (SF6)			くく、服内部に侵入しにくい保護衣又は作業 ②監督員の現場作業の立入確認のため、保護具	
	添付するものとする。	23 1	试掘	地中に解体撤去すべき工作物等がないことを確認するため、次の時期及び方法により試掘を行う。	棄物			E (発注者ii	間査)で判明してい	る特別管理産業廃棄物等は次のとおりであり、適切	a l		7) 官公署その他への手続き	
	① 工事中写真 全般的な解体工事の状況、建設副産物処理及び事前措置、解体手順の各段階における施工が完了			※ 試掘時期 ・ 完成検査時 ① (建築物等解体完了時) ※ 試掘方法 ・ 機械掘削 ・ 人力掘削	特殊		に処理すること。 ・特別管理産業廃			査結果と共に調査結果(調書)に反映させること			①労働安全衛生法の吹付け石綿除去作業の工事 ②「石綿則」第5条第1項の規定による作業届	
	した写真、水中又は地下に埋設される部分、分別解体を行っていることが確認できる状況写真、そ			なお、試掘は建築物1棟ごとに1箇所以上、外構(排水施設、舗装等)で1箇所以上行い、試	な。				※ 無し				③大気汚染防止法の特定粉じん排出等作業実施	届出 (都道府県知事)
	の他工事終了後では確認できない事項、その他監督員が指示する箇所はA4版写真台紙にまとめて 完成検査日までに提出するものとする。 なお、基礎や地下構造物等の撤去については、撤去物の	(24) €	自社施工を求める	掘する箇所については、検査員の指示による。 受注者と直接的な雇用関係にある技術者及び作業員等により、次の工種を全て施工すること。	設副				有り (CBを含む機器類)			④その他、各自治体の条例又は要綱等により義 (特別管理産業廃棄物管理責任者設置報告書	
	全般に亘り、その位置・深さが明確に分かり撤去前と撤去後の状況が確認できる写真とすること。	×	対象工種	● 解体工(仮設工事、石綿含有建材除去工事、防草シート敷設工事を除く。)	物				※無し	,			8) 適用基準等	on TB (= BB -+ 7 ++ 45 +5 A)
	【提出部数】: 1部 ○ 完成写真	25) ff	青報共有システム	本工事は、インターネットを利用して、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、効率	処理				有り (CB含有シーリン・) グ			※ 「建設・解体工事に伴うアスベスト廃棄物が	心理に関する技術指針・同解説」
	撤去前と撤去後の状況が確認できる写真とすること。 (撮影箇所) 監督職員が指示する箇所			化を図る情報共有システムの対象工事である。 ************************************	-				※ 無し・ 有り (,	-	4 石綿含有吹付け材 の除去	1)処理を行う石綿含有吹付け材の仕様及び部位 ※ 図面による ・ 下記による	
	(写真規格) ・カラーサービス版 ・カラーキャビネ版 ・			本工事で利用する情報共有システムは、「広島県工事中情報共有システム」とし、当該サービス提供者 との契約は受注者が行い、利用料を支払うものとする。				④廃		,		(6. 3. 1~6. 3. 4)	不認定はある。これによる	使 用 部 位
	(規格・提出部数) ・A4版クリアファイル 部 ・A4版写真台紙 部 ・アルバム 部 ○ その他の写真			運用に当たっては、「福山市発注工事における情報共有システム利用実施要領(建築工事)及び「情報共 有システム利用系引(建築工事)」によるものとする					※無し ・有り (1			**************************************	/// 80 50
	隣接建物等に損傷の恐れがある場合は、施工前、施工後の写真を監督員の指示により提出すること。			有システム利用手引(建築工事)」によるものとする。 ・ 発注者指定型				⑤廃	酸、廃アルカリ	,				
	○ 保管 エ事写真のネガは工事完成後、受注者において2年間保管すること。			共通仮設費として情報共有システムの利用料を見込んでいる。 受注者は、本システムを利用できない特別の事由がある場合は、工事着手までに当該事由を記載した					※ 無し・ 有り (Λ.				
				工事打合せ簿を監督員に提出し、その承諾を得ることで本システムを利用しないことができる。			・特殊な建設副産	物 ①フ	ロン等の特定物質	,			2)作業場の隔離、養生等	
9 施工管理 (1.3.1)	受注者は施工管理体制を確立し、工程、安全、建設廃棄物処理等の施工管理を行う。 ※ 施工体制台帳(建設業法等に従って作成し、写しを提出する。)			受注者希望型(契約時の請負金額が500万円以上のものに限る) 工事費には情報共有システムの利用料を見込んでいない。					※ 無し ・ 有り (・ 空	気調和設備の冷媒・)			①除去に伴い石綿の作業場から外部への飛散防 るため、プラスチックシート等を用いて負圧	「止及び処理を行わない他の部位への汚染を防止す 隔離養生を行う。
"""	技術者台帳 (施工体制台帳に添付)			本システムの利用を希望する受注者は、工事着手までに工事打合せ簿により、監督員にその旨を申し出て				②放	射性物質	/			②隔離した作業場内は、HEPAフィルターを備え	た負圧除じん装置により、常時負圧を保つ。
	監理技術者・主任技術者(下請を含む)及び専門技術者の写真、名前、生年月日、所属会社名を記載する。			本システムを利用するものとする。 その場合の請負金額の変更については、情報共有システムの利用料を共通仮設費に見込むものとし、					※無し ・有り ()			③隔離した作業場内への出入りによる石綿粉じ 更衣室の3室で構成するセキュリティーゾー	んの二次汚染を防止するため、前室、洗浄室及び -ンを設置する。
	※ 施工体系図(建設業法に基づき、当該現場の見やすい場所に掲示する。)			本システムの利用を確認した後に変更契約を行うものとする。					ふっ化硫黄(SF6)	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			④洗浄室にはエアシャワー設備を設ける。	
										福山市建設局建築部住宅課	工事名称	口南市営住宅7号		図面No
										IR Rt	図面名称		r	2
										2025年 10月	解体	工事特記仕様書	(1)	/ 6

項	特 記 事 項	-		+ • + -	項	侍 記	事 項	章 項	特 記 事 項	
	(多族主法) (金工法) ・ 大通仕様書による	i o	項 特 部 事 項 化した状態で作業を行う。なお、温潤化が着しく困難な場合は、除じん性能を有する電動工具を使用するなと形じんの参数を防止する。 ②除去した石綿等の保管、運搬、処分等 6 4)除去した石綿等の保管、運搬、処分等による。 処分先については、監督の担害による。 ・ 埋立処分 (・ 安定型最終処分場 ・ 管理型最終処分場) ・ 中間地理 (・ 海融施設 文は無常化型無値 と) なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、整 館員と協議すること。 3 諸認及び後片付け ()関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ②要生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分清掃する。		項 ***	青 龍	事 項	草	特記事項	
の除去 (6.5.1~6.5.4)	②作業場の隔離 (・行う ※ 行わない) 石綿含有保温材等の除去にあたり、掻き落し・破砕・切断による方法の場合は、作業場の隔離 を行うこと。 3)作業場の隔離を行う場合は、4 2)を適用する。 除去工法 ※ 粉じん飛散抑制剤により湿潤化した後に手ばらし ・石綿含有吹き付け材の除去による 除去物の処理 (※ 密封処理(二重袋梱包) ・セメント固化)						福山市建設局建築部住宅課	- 3-6-8-6- 樋之口南市営住宅 7 号棟解体工事		図画No.

2025年 10月 図車名等 解体工事特記仕様書 (2)



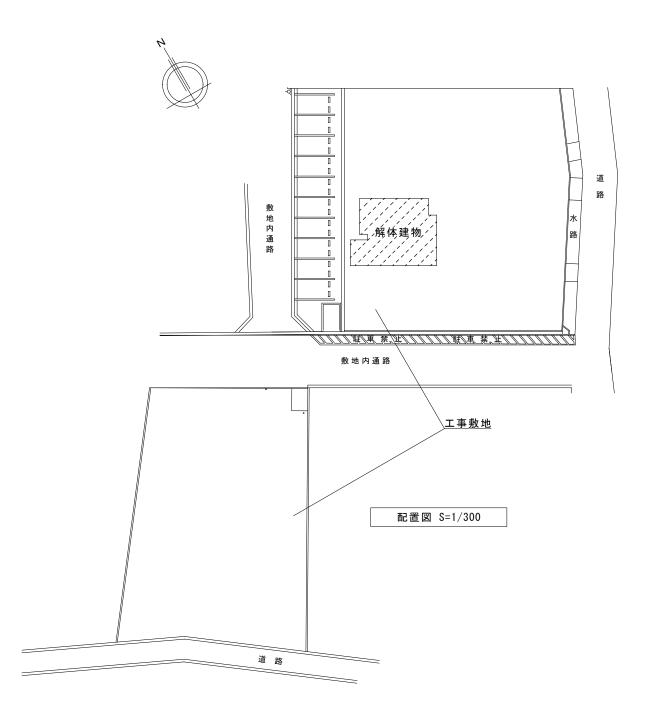


<u>樋之口南市営住宅</u> 工事場所∶福山市新市町地内

附近見取図 Non Scale

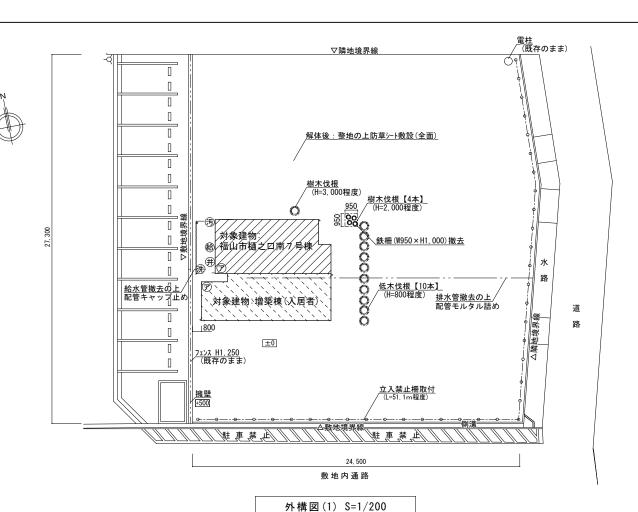
建築物の概要(住宅棟)

名 称	樋之口南市営住宅7号棟
新築工事の着工日	1961年4月1日
住 所	福山市新市町大字新市979番1
耐火種別	・耐火 ・準耐火 ⊙その他
構造	⊙木造 ・R C造 ・S造 ・その他
延べ面積	64 ㎡ (整数部分のみ)
階 数	地上 1階、地下 階
解体等の作業の対象 となる床面積の合計	64 ㎡(整数部分のみ)

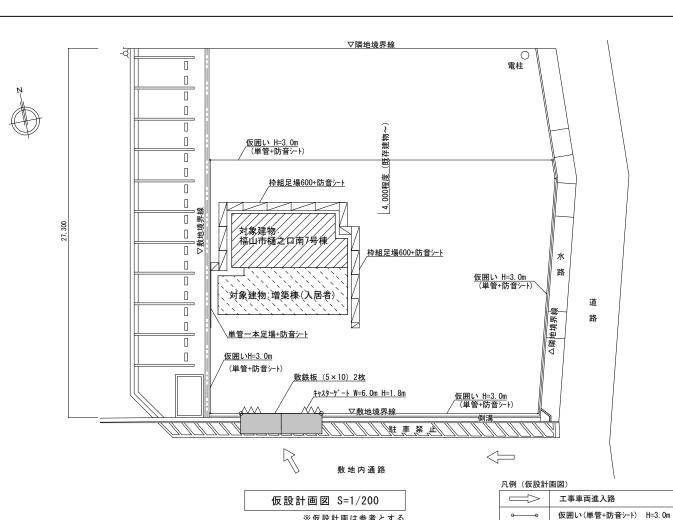


A3版 71% A4版 50%

	工事名称		福山市建設局建築部住宅課	8
عگم	樋之口南市営住宅7号棟解体工事		福山川廷政府建采即任七味	4
	^{図画 6 件} 附近見取図・配置図	S=Non Scale 1/300	2025年 10月	



17, 620 敷地内通路 ▽敷地境界線 \<u>立入禁止柵取付(既存木柵撤去含)</u> (L=12.6m程度) 整地の上防草シート敷設(全面) <u>立入禁止柵取付(一部既存木柵撤去含)</u> (L=21.3m程度) △道路境界線 外構図(2) S=1/200



凡例 (外構図)

樹木 (Φ=300以下) 井戸、井戸ポンプ(1箇所) ガス給湯器 (1箇所) ポリカ波板(木下地) W=3,000 H=1,800 便槽 (W700×D600×H1,500程度) 臭突管(1箇所) ガーデンパン(1箇所) 架空管 アンテナ 壁付 (2箇所) 竪樋 φ 75 (住宅棟:1本) (増築棟:2本) --→-- 立入禁止柵(切丸太H1,000程度 @1,400

※仮設計画は参考とする

〈注記〉

- ・屋根解体施工時は安全対策用親綱設置、安全帯を使用する。
- ・足場組立・解体時・廃材搬出時等、必要に応じて誘導員を配置する。
- ・工事用車両により全面道路に泥を持ち出さないよう対策を講ずる。
- ・工事車両搬出入路については、仮敷き鉄板の上通行とする。 また、仮設敷き鉄板については、十分に検討を行い安全性に留意する。
- ・既設取合のある配管は切断の上フランジ止めする。
- ・敷地周辺の水路、排水溝に放流している配管を撤去した開口部 はモルタル等で補修する。
- ・敷地内の樹木、草花、雑草等も全て撤去・処分する。
- ・電気設備、機械設備は全て撤去・処分する。
- ・敷地内の特記なき物は全て撤去する。
- ・井戸ポンプ撤去後、VU管を500程度埋設の上、通気キャップにて養生する。
- ・解体後、改修敷地全体を敷均し締固め後、防草シート(t0.64) 敷きとする。

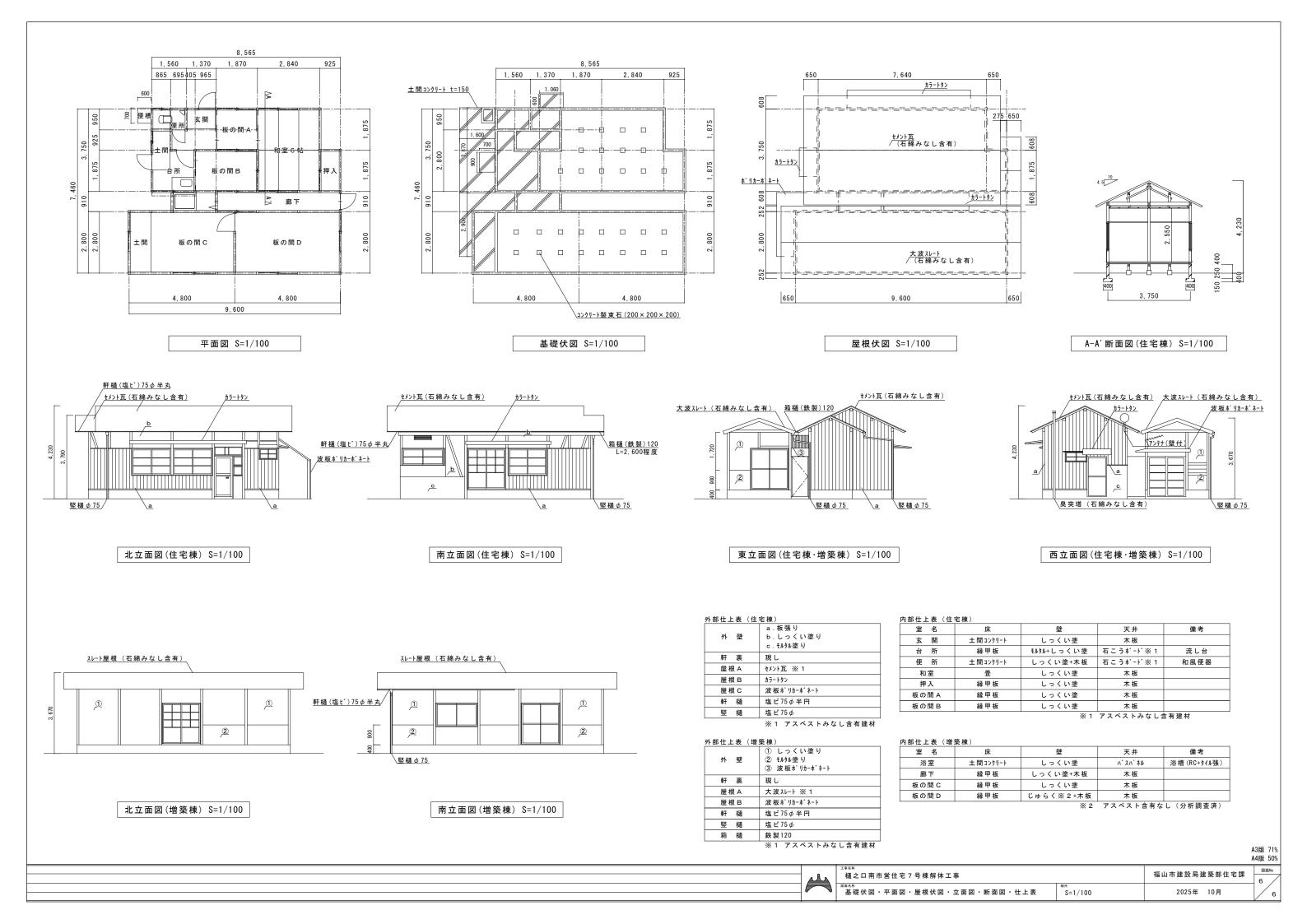
座外版 云 彻	
雨水枡	全て撤去・処分
雨水排水管	全て撤去・処分
給水管	全て撤去・処分
ガス管	全て撤去・処分
残置物 (各種)	全て撤去・処分
СВ	全て撤去・処分
鉄柵 (W950×H1,000)	全て撤去・処分

キャスターケ゜ート W=6.0m H=1.8m

A3版 71% A4版 50%



				=
		福山市建設局建築部住宅課	図面No	
2 口 南 市 営 住 宅 7 号 棟 解 体 工 事		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	5 /	7
觜図・仮設計画図	^{縮尺} S=1/200	2025年 10月	/6	



参考数量書

§ 工事場所 福山市新市町地内

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく 参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。
 - ※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

設 計 書

工事場所 福山市新市町地内

【工事概要】

建物解体工事 一式

・解体建物 7号棟 木造平家建 1戸 延べ面積 30.4㎡ 増築 木造平家建 1戸 延べ面積 33.8㎡

- ・その他解体 樹木伐採伐根、便槽、土間コンクリート、屋外排水桝等撤去
- · 整地工事

工事費内訳

1

名称	数	量	単位	金額	備	考
直接工事費						
直接工事費		1				
		1	式			
∄ -						
共通費						
共通仮設費						
		1	式			
現場管理費						
		1	式			
一般管理費等						
		1	式			
≅ †			1/4			
工事価格						
		1				
消費税等相当額			式			
		1			消費税率 10 %	
工事費			式			
		1				
			式			

工事種別内訳

2

	T					T	
名 称	数	量	単位	金	額	備	考
直接工事費		1					
計			式				
HI							

名	称	数	量	単位	金	額	備	考
住宅棟			1					
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				式				
日采1休			1					
				式				
外構 (敷地1)			1	式				
外構 (敷地2)				10				
			1	式				
計								

住宅棟								
名	称	数	量	単位	金	額	備	考
仮 設			1					
				式				
土工			1					
1 10 5 1				式				
とりこわし			1					
産業廃棄物処理費等				式				
<u></u> 医果廃果物处理負令			1					
計				式				
H1								

增築棟								
名	称	数	量	単位	金	額	備	考
仮 設			1					
			1	式				
土工			1					
1 10 = 1 1				式				
とりこわし			1					
産業廃棄物処理費等				式				
<u></u>			1					
計				式				
11								

名	称	数	量	単位	金	額	備	考
土工			1					
とりこわし				式				
C) C 42 U			1	-4-				
計				式				

外構 (敷地2)								
名	称	数	量	単位	金	額	備	考
土工			1					
			1	式				
とりこわし			1					
⇒ 1.				式				
計								

住宅棟					
 科 目 名 称	中科目名称	数量	単位	金 額	備考
仮 設	直接仮設	,			
		1	式		
計					
土工		1			
		1	式		
計					
とりこわし	とりこわし	1			
		1	式		
10 1					
産業廃棄物処理費等	発生材運搬費	1			
		1	式		
産業廃棄物処理費等	発生材処理費	1			
		1	式		
# +					

増築棟					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
仮 設	直接仮設				
		1	式		
計			20		
± I.					
		1	-4>-		
計			式		
とりこわし	とりこわし				
		1			
하 나			式		
рі					
産業廃棄物処理費等	発生材運搬費				
<u></u>	先生 材 連	1			
			式		
産業廃棄物処理費等	発生材処理費	1			
		_	式		
nh+ n+					

外構 (敷地1)				
科目名称	中科目名称	数量	単位 金	額備考
土工				
		1	式	
11th				
とりこわし	とりこわし	-1		
		1	式	
11th				

外構(敷地2)				
科目名称	中 科 目 名 称	数量	単位 金	額備考
土工				
		1	式	
計				
とりこわし	とりこわし	1		
		1	式	
計				

住宅棟		仮	設					直接仮設			
名 称	摘 要		数	量	単位	単	価	金	額	備	考
枠組本足場	建枠 600×1700 布枠500×1枚			00.1							
(手すり先行万式)	供用30日賃料 修理費含む 12m未満			90. 1	m²						
安全手すり	枠組本足場用										
(手すり先行方式)	掛払い手間,運搬費,維持管理費 30日	ŧ		21. 3	***						
防音シート張り	30 Д				m						
	掛払い手間、運搬費、維持管理費は	ŧ		90. 1	2						
内部仕上足場	30日 階高4.0m以下				m²						
	脚立足場 一般			30.4							
親綱設置	平家建 修理費・運搬費含む				m²						
				1							
<u> </u>					セット						
計											
				<u></u>		-					

住宅棟			土工								
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
埋戻し	敷均し・締固め共	発生土		18							
				10	m3						
購入土	運搬費共			4. 3							
				1.0	m3						
土工機械運搬	根切り、埋戻し -			1							
計					往復						
#T											

住宅棟			とりこわ	し				とりこわ	l		
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
木造上屋解体	手こわし併用機械 内部造作撤去・積込			30. 4	m²						
基礎コンクリート撤去	有筋 手こわし併 現場ならし・積込			30. 4	m²						
コンクリート土間解体	厚150程度 圧砕機 現場ならし・積込み			7. 1	m²						
屋根材撤去	アスベスト含有 手間	加算		52. 1	m²						
天井ボード撤去	アスベスト含有 手間	加算		6	m²						
臭突筒撤去	アスベスト含有			4	m						
除去石綿処理	密封処理(二重梱包	1)		1. 1	m3						
和風便器撤去				1	か所						
流し台・コンロ台 撤去				1	か所						
井戸ポンプ撤去				1	か所						
瞬間湯沸器撤去	屋外設置			1	か所						
便槽撤去	埋戻し共 購入土			1	か所						
排水桝撤去	500×500程度 積 埋設管撤去含	込共		1	式						
配管モルタル詰め				1	式						
配管キャップ止め				1	式						
運搬 (ベースマシン, バックホウ)	排出ガス対策型油	圧式クローラ型0.5m3		1	往復						
計											

主宅棟				産業廃棄物処理費等						発生材運搬費					
名	陈	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考			
発生材運搬費	無	筋コンクリート													
					10. 3	m3									
発生材運搬費	木	解体材													
					6. 6	m 2									
発生材運搬費	伐	採木 伐根共				m3									
					0.8										
· 発生材運搬費	_	般				m3									
					10. 1										
発生材運搬費	rate:	プ [°] ヺ				t									
化工机 建胍負	Æ	, ,			0. 1										
						t									
発生材運搬費	石	綿含有産業廃棄物	To the second se		1										
					1	式									
発生材運搬費	鉄	くず			1 5										
					1. 5	t									
計															

主宅棟		産業廃棄物処理費等						発生材処理費					
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考		
発生材処理費	無筋コンクリート												
				10. 3	m3								
発生材処理費	木 解体材												
				6.6	m3								
発生材処理費	伐採木 伐根共				ms								
				0.8									
発生材処理費	一般				m3								
				10.1									
発生材処理費	廃プラ				t								
				0.1									
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	石綿含有産業廃棄物	<i>t</i> n			t								
无工机 处注真	石刷日日庄未光来和	<i>3</i>		2. 9									
. b = − − ° bete PA	***				t								
マクラップ控除	НЗ			1. 5									
					t								
計													

増築棟		仮	設					直接仮設	直接仮設				
名 称	摘 要		数	量	単位	単	価	金	額	備	考		
枠組本足場	建枠 600×1700 布枠500×1枚												
(手すり先行方式)	供用30日賃料 修理費含む 12m未満			18. 1	m²								
安全手すり	枠組本足場用												
(手すり先行方式)	掛払い手間,運搬費,維持管理費却 30日	ŧ		4. 3									
単管一本足場	30 B				m								
	供用30日賃料 修理費含む			18. 2	2								
防音シート張り	10m未満 -				m²								
D. H. 1987	掛払い手間,運搬費,維持管理費却	ŧ		36. 2									
内部仕上足場	30日 階高4.0m以下				m²								
11的压工化物	脚立足場 一般			33. 9									
수민 Arm 스마, CEE	平家建 修理費・運搬費含む				m²								
親綱設置				1									
					セット								
計													
				_									
						-							

増築棟	子 <u>兵</u> 小	土工								
名 称	摘	1	量	単位	単	価	金	額	備	考
埋戻し	敷均し・締固め共			,	,			,,,,	V.1.4	
			16	2						
購入土	運搬費共			m3						
			3. 7							
計				m3						

増築棟		ξ	とりこわ	し				とりこわし				
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
木造上屋解体	手こわし併用機械角											
	内部造作撤去·積込	.み共		33. 8	m²							
基礎コンクリート撤去	有筋 手こわし併月											
	現場ならし・積込み	み共		33.8	m²							
コンクリート土間解体	厚150程度 圧砕機	併用			111							
	現場ならし・積込み	·鉄筋分別共		3. 2	m²							
ポリカーボネート屋根撤	小屋組、積込み共				111							
去				3. 9	2							
テラス撤去	小屋組、積込み共				m²							
				6.6								
屋根材撤去	アスヘ゛スト含有 手間力	n 算			m²							
				41								
天井ボード撤去	アスヘ゛スト含有 手間力	加質			m²							
	7,137			1.8								
除去石綿処理	密封処理(二重梱包)			m²							
除云石稍处垤	省月处理(二里個包	.)		0.3								
テレヒ゛アンテナ撤去					m3							
7/11 1/77 11				1								
0 = 1 3 1 m = 1 Hd 1					個							
パラボナアンテナ撤去				1								
					個							
浴槽撤去				1								
					か所							
ガーデンパン撤去				1								
					か所							
鉄柵撤去				1								
				1	式							
計												

増築棟				産業廃棄	物処理領	費等			発生材運搬費				
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
発生材運搬	費	無筋コンクリート											
					6. 6	m3							
発生材運搬	費	木 解体材				mo							
					4. 9								
発生材運搬	費	一般				m3							
					7. 5								
発生材運搬	弗	廃プラ				t							
九工(7) 连版。	具	<i>7</i>			0.1								
to the proceedings	##	M. 2 19				t							
発生材運搬	質	鉄くず			1								
						t							
計													

増築棟			産業廃棄	物処理	費等			発生材処理費				
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
発生材処理費	無筋コンクリート											
				6. 6	m3							
発生材処理費	木 解体材				mo							
				4. 9								
発生材処理費	一般				m3							
,11,1,0,11				7. 5								
発生材処理費	廃プラ				t							
光王 初 是 还有	DE/ /			0. 1								
and all the same after					t							
発生材処理費	石綿含有産業廃棄物			1								
				1	t							
マクラップ控除	Н3			4								
				1	t							
計												

	数			土工				T				
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
隆地												
					696	2						
方草シー	ト動設	t0.68 止め金具共				m²						
	72/11/2				696							
						m²						
立入禁止權		切丸太 H=1,000 @1,40 標準ロープ 2段	0		Г1							
		標準1-7.2段			51	m						
計	•											

外構(敷地1)	1		とりこれ	っし				とりこわし				
名 称	指		数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
樹木撤去1 (伐採抜根)	H-3.0 幹	幹回りφ25 機械併用		1								
(汉林汉)				1	本							
動木撤去2	H-2.0 幹	ὲ回りφ25 機械併用		4								
(伐採抜根)				4	本							
樹木撤去3	H-0,8 幹	P回りφ30 機械併用										
(伐採抜根)				10	本							
草刈り												
				1	式							
計												

外構 (敷地2)			土工	_				T -			
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
整地				554							
Lulle V Dram					m²						
坊草シート敷設	t0.68 止め金具共	:		554							
					m²						
立入禁止柵	切丸太 H=1,000 @1標準ロープ 2段	1, 400		33. 9							
-1					m						
計											

外構(剪	敷地2)		とりこわ	し				とりこわし				
	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
草刈り					1							
=	⇒ 1					式						
Ī	計											

									T			
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
仮囲い		H=3.0m 防音シート										
		架払い手間,運搬	費,維持管理費共		86. 3							
・ヤスターケ゛ート		90日 W6000×H1800 片閉	# ±			m						
7/7 7 1		90日	n e		1							
		架払い手間,運搬	費,維持管理費共		1	か所						
敦き鉄板		鉄板板										
		設置,撤去,運搬費	,維持管理費共		9.3							
		30日				m²						
交通誘導員	В											
					2	人						
計						八						
н												
				_			_	_				_